

「日本語を教えるための日本語文法」

第7回-3 「追い込む」教案例

「今晚勉強するつもりです」

山田 あき子

<http://yu-yu-jin.com/>

<https://www.facebook.com/yuyuujin/>

[nihongo@yu-yu-jin.com](mailto:nihongo@yu-yu-jin.com)

検討したいこと <~つもりです/~ないつもりです>と<~ます/~ません>との選択基準 →第7回-1

提案したいこと 追い込む視点での <~つもりです/~ないつもりです>の指導→第7回-2/第7回-3

第7回-2/3では<つもり>の指導を題材に追い込む指導の考え方を示していきます。

第7回は3篇に分けてアップしています。第7回-1で、検討したいことを取り上げており、第7回-2、第7回-3で提案したいことを取り上げます。第7回-2は《「追い込む」ことを前提とした教案作成についての考え方》と第7回-3《「追い込む」教案例》と分けてアップします。結局第7回は第7回-1、第7回-2一、第7回-3として掲載します。

第7回-1 ① 「つもり」の用法について

② <~つもりです>の [これからすること] を伝える用法

③ これまでの検証のまとめ

第7回-2 ④ 指導A

4-A 「追い込む」ことを前提とした指導についての考え方

4-A-1 インタラクション

4-A-1-1 インタラクションは「伝えたいこと」のやり取り

(1) インタラクションの原型

(2) 授業内でのインタラクションの特徴

4-A-2 おしゃべりは脈略のある話題の連続

4-A-3 教案にいて

(1) 教案作成

(2) 教案の流れ

(3) 指導項目の導入

(4) 導入項目の使用・運用練習

⑤ まとめ

(1) 追い込みがうまくいくには

(2) 指導者もクラスおしゃべりの参加者になる

(3) 教案例はサンプル

最後に

第7回-3 ④ 指導B

4-B 「追い込む」教案例

#### 4 指導

##### 4-B 「追い込む」教案例

<つもりだ>を導入する場合のクラスおしゃべりを想定し、シナリオ型の教案を作成します。

想定 対象者 『みんなの日本語』30課までの終了者

授業日 金曜日土・日曜日休み)

クラス人数 10名以上

凡例 記号 全：学習者全員

La・Lb・Lc：クラスで反応が分かれた場合のグループ

L①・L②：学習者一人

La①：Laグループの一人

La(1)・La(2)：Laグループ内のグループ

La(1)x・La(1)y・La(1)z・・・La(1)の中の一人一人を特定せず示す

L①～Ln 学習者一人一人を特定せず示す

⇒ 指導者から学習者グループへ → 指導者から学習者個人へ

⇐ 学習者グループから指導者へ ← 学習者個人から指導者へ

⇕ 学習者同士

・想定される学習者から発せられるであろう発話

… 例示した反応意外にも想定される場合を示す

[ ] 発話上のつながりの言葉

( ) ト書きと解説 内容はイタリックで示す

i>

備考 メモ書き

		指導者	実際の教案で は不要	学習者	備考 注意点、メモ
話題					
[ ]	( )				
挨拶		おはようございます。 時候・体調・出欠など	⇒		聞き、話す態勢を整える。
宿題 (続く)	提出	さあ、宿題をしましたか。	⇒	全	ここから始めることもできる。
			⇐		はい。
	質問	質問がありますか。	⇒		
			⇐	La	はい。
			⇐	Lb	いいえ。
		(質問に答える。)	⇒	全	
		みなさん、出してください。	⇒		
			⇐		はい。
宿題の実施日 (続く)	(宿題を回収しながら) (宿題、)昨日しましたか。	⇒			想定：宿題は前日出された
		⇐	La	はい。	
		⇐	Lb	いいえ。	

宿題	宿題の実施日	いつ、しましたか。	⇒	Lb		
			→	Lb①	今朝しました。	
		Lb①さんは、いつも朝しますか。	⇒			
			←		いいえ。 でも、時々、朝します。	
		そうですか。	→			相槌・受けの表現は自然に。尋ねているのであり、それに対する反応は自然に。
		〔じゃ、〕 Lb②さんは、いつしましたか。	→	Lb②		〔じゃ〕のようなつなぎの語は自然に。
			←		今朝しました。	私も今朝しましたと言って欲しい。
		そうですか、でも～～～	⇒	全		
		Lb①さんは？	⇒			もなども、もを使った方が
			⇐	全	今朝しました。	良いと思われるときは使うように誘導する。Lb②
		〔じゃ、〕 Lb②さんは？	→	Lb②		と全員に気が付いてもら
		(すぐに反応しないようだったら、誘導的に) わたし～～～	→			いたないので、Lb①に戻って気付かせる案。結論だけを使うのではなく、考えさせることが肝要。
					わたしも今朝しました。	
		そうですね。	⇒	全 Lb②		指導者側の誘導を理解し、もを思い出したことに対しての応答。
		Lb③さんは？	→	Lb③		ピアでさせることも可能
			←		私も今朝しました。	だが、情報をクラスで共有するための表現方法～と言った～そうだが未習段階にあるので、指導者主体でどんどんインタラクションを展開していくほうが良い。
		Lb③さん。(呼びかけ) Lb④さんは、どうでしょう。	→			
			←		Lb③さんも、今朝したと思 います。	～と思うの復習を兼ねている。
(当人に確認) Lb④さん、そうですか。	→	Lb④				
	←		はい、そうです。			

復習	は・もの使用	じゃ、La①さんは？	→	La①		は・もの実際の発話環境での応用練習・活用練習となる。
			←		私は、昨日しました。	
		La②さんは？	→	La②		
			←		私も昨日しました。	
宿題（続く）	前日の宿題の実施の時 より限定的に（続く）	昨日のいつしましたか？	⇒	La	?????	
		昨日の何時頃しましたか？	⇒			
			←	La①	・夜しました。	10時にしましたに対し、10時ごろ・10時からなどの表現方法に注意するよう喚起するとう良い。
			←	La①	・10時にしました。	
				Lax	・夕食を食べてからしました。	
		(Laxの発話を拾う) みなさん、Laxさんは？	⇒	全		
			⇐	全	夕食を食べてからしました。	
		そうですね。	⇒	全		
		じゃ、みなさんはどうですか。	⇒	La		
			←	La①	・夕ご飯を食べてから宿題をしました。	
				La②	・アルバイトをしてから宿題をしました。	
				La③	・アルバイトが終わってから宿題をしました。	
				La④	・うちへ帰ってから宿題をしました。	
		〔じゃ、〕Lbさん、朝、宿題をしましたね。朝ご飯を食べましたか。	⇒	Lb		
			⇐	Lb(1)	・はい。食べました。	
	⇐	Lb(2)	・いいえ。食べませんでした。			
(理解促進のため、ジェスチャーなどで示しながら) Lb(1)さん、朝ご飯を食べました。宿題をしました。どちら？	⇒	Lb(1)				
	←	Lb①	・朝ごはんを食べてから宿題をしました。			
		Lb②	・宿題をしてから朝ご飯をたべました。			
			・朝ごはんを食べる前に、宿題をしました。			
Lb①さん、宿題をどこでしましたか。	→	Lb①				
	←	Lb①	家でしました。 学校でしました。			

宿題	宿題の実施の日 より限定的に	Lb②さん、宿題をいつしましたか。	→	Lb②		このこと自体は褒められることではないだろう。あまり公にしたいくないかもしれないので、学習者自身の性格、クラスメートとの関係性などを勘案して行う。こういったことが通じ、笑い合える人たちだと、有効に機能する。実際にはこの時期には、学習者の性格もわかってきているだろうから、勘案しながら進める。	
			←		学校へ来てからしました。		
		<p>(昨日のことと日ごろのことの行動を表現する言語能力を確認し、次に続く「これからの行動」の表現方法に展開する。この教案例では、助走が長いが、完了したこと及び習慣的な動作行為を伝える「&lt;～ます&gt;&lt;～ません&gt;の用法はもう大丈夫」と学習者に認識させることによって、次の新たに導入される表現方法のインパクトを大きくする目論見である。)</p>					
宿題	宿題実施の習慣	La④さん、水曜日の宿題は、いつしましたか。	→	La④			
			←		水曜日の夜、しました。		
		La④さん、火曜日はどうでしたか。	→				
			←	火曜日の夜、しました。			
		皆さんもそうですか。	⇒	La			
			⇐		はい。そうです。		
		皆さんは、どうですか。	⇒	Lb			
			←	Lb①	明日しました。		次の日を指導する。
		Lb①さん (訂正) 次の日にしました。	⇒	Lb① 全			
			←		Lb①		次の日しました。
(訂正) 次の日にしました。	→						
	←		次の日にしました。				

<p style="text-align: center;">語彙指導</p>	<p style="text-align: center;">「次の日」の指導</p> <p>(「次の日」と「明日」の使い分けの指導。 本題がから外れるので、ここは修正だけで済ませるか、ここで言うか判断をする。)</p> <p>・次の日に関して</p> <p style="padding-left: 2em;">次の日(訂正) 時間的余裕があれば、 明日と次の日をカレンダーを示しながら伝える</p> <p>・助詞「に」に関して</p> <p>1案 <b>に</b>が必要なことをジェスチャー な どで示す)</p> <p>2案 ピアに修正をさせる。 例 指導者:「次の日します」 いいですか。 学習者(誰かが):次の日にします。</p> <p>3案 (学習者に考えさ、思い出させる。) 例 指導者:次の日〜(誘導する) 学習者:次の日にします。 指導者:明日(誘導する) 学習者:明日します。 指導者:そうです。</p> <p>(「次の日」「明日」に関し「に」の用法について確認)</p>				<p>助詞忘れであることを喚起するジェスチャーを決めておくが良い。</p>
<p style="text-align: center;">宿題(続く)</p>	<p style="text-align: center;">宿題実施の習慣について確認</p> <p>(理解だけが、名詞修飾の表現方法を使ってみる)</p> <p>Laさんは、宿題をもらった日にします。</p> <p>Lbさんは、宿題をもらった日の次の日にします。</p> <p>そうですね。</p> <hr/> <p>宿題をしない人はいますか。</p> <hr/> <p>そうですね。</p> <p>いい学生ですね。</p>	<p style="text-align: center;">⇒</p> <p style="text-align: center;">⇐</p> <p style="text-align: center;">⇒</p> <p style="text-align: center;">⇐</p> <p style="text-align: center;">⇒</p> <p style="text-align: center;">⇐</p>	<p style="text-align: center;">全</p>	<p style="text-align: center;">はい、そうです。</p> <hr/> <p style="text-align: center;">いません。</p> <hr/> <p>・はい。そうです。 ・もちろんです。</p>	

宿題（続く）	金曜日（当日）の宿題の実施の日（～つもりです）導入の話題	(注意を喚起するように。何かこれまでとは違ったことが起こりそうな雰囲気を漂わせながら) それでは、今日の宿題はいつしますか。	⇒				
			⇐	La	今日します。		
			⇐	Lb	明日します。		
		本当に今日しますか。	⇒	La		の追い込み み	
			←	La①	ええ。します。		
		今日は金曜日ですよ。	→				
			←		はい。今日します。		
			←	La②	(躊躇を示したら) ……今日します 多分。 わかりませんが、……します。		
		そう？ [じゃ、] するつもりです。	→				
			←		するつもりです??		
		そう。みなさん La①さんは?	⇒	全			
			⇐		今日します。		
		そうですね。 絶対しますね。	→	La①			
			←		はい。します。		
		La②さんは、絶対ですか。	→	La②			
			←		いいえ。そうじゃありません。		
		[ですから、] いつしますか。	→				
			←		今日、するつもりです。		
		ここからは<～つもりです>の理解と運用の確定と練習。定着を目的にした練習) クラスおしゃべりを進める過程で、<～ますく><～ません>、<～つもりです>を使う機会作りながら指導者がリードする形でクラスインタラクションを進める。					
		L①さんは、今日の宿題をいつしますか。	→	L①		<～つもりです>の用法 が分かったどうかの確認	
	←		今日します。				
本当?	→						
	←		はい。今日すぐします。				
そうですか。	→						
L②さんは? どうですか。	→	L②		このような誤りを想定し、 形式を意識付けるいい機会と捉える。			
	←		今日、つもりです?				

宿題	金曜日(当日)の宿題の実施の日(〜つもりです) 導入の話題	L a ②さん! いつ宿題をしますか。 (L a ②のことは既にわかっているが、「力を貸して」と言う気持ちで協力を求める。ピア学習となる。さらに、L a ②にとっては指導者の要請に応える形だが、自然に復習する機会となる)	→	L a ②		
			←		今日するつもりです。	ピアで助け合わせる。
		L ②さん、今日宿題をしますか。	→	L ②		
			←		今日、するつもりです。	
		そうですね。(確認・修正ができたことに対する応答)	→			
		L ③さん、宿題をしますか。	→	L ③		
			←		はい、するつもりです。	このような誤りは、考えずに繰り返したか、よくわかっていないかいずれかだと思われる。誤りに気づかせ、相手からの働きかけの発話を注意して聞くように促す。相手の発話内容に注意への意識づとなる
		(どうですか? いいですか? といった雰囲気で)	⇒	全 L ③		
		ええっ! 宿題をしませんか。				
			←	L ③	します。	
		そうですね。みなさん(呼びかけ) 宿題を絶対〜(誘導)	⇒	全		
			⇐		します。	
		もう一度聞きますね。 L ③さんは、いつ宿題をしますか。	→	L ③		
			←		明日するつもりです。	
		明日ですか。	→			
			←		はい。	
		L ④さん、今日宿題をしますか。	→	L ④		
			←		いいえ、しませんつもりです。	チャレンジ型の誤り。L ④のチャレンジの気持ちを利用する。これも期待したい発話文。形式を導入するきっかけとなる。
そうですか。 でも、ちょっと間違っています。	→					
	←		???			



		<p>板書</p> <p>宿題をします——宿題をするつもりです</p> <p>宿題をしません——（ _____ つもりです）——（宿題をしないつもりです）</p> <p>↑ 推測させる（考えさせる）</p>			丁寧形—普通形の対立を示し、—ない形を類推させる。 <b>勉強します→勉強する</b> の変形は誘導しながら学習者に言わせることが肝要。それが次の—ない形を引き出すことにつながる。	
		<p>〔ですから、〕</p> <p><b>L④さん、今日、宿題をしますか。</b></p> <p>（インタラクションの基本が<u>問う—応じる</u>なので、再度発話させる場合も、<u>問う—応じる</u>を原則とする。）</p>	→	L④		
			←		<b>いいえ、しないつもりです。</b>	
		<p><b>そうですね。</b></p> <p>（それで「良い」というサインとしての応答）</p>	→			
		<p>（曜日、時刻、午前、午後などと時間帯を変えて、学習者全員に尋ねる。</p> <p>その間に、&lt;～ます～ません～つもりです～ないつもりです&gt;が使われるだろうと予測を立てる。</p> <p>～と思いますなども盛り込むと良い。人の話を聞く習慣をつける。）</p>				
解説	話題について	<p>（宿題の実施の話題で土曜日・日曜日が話題になるだろうから、土曜日・日曜日でのその他の活動に話題を展開する。話題が広がる方がおしゃべりは楽しくなり、結果的に異なる動詞を使う機会を作ることになる。ただし、&lt;～つもりです&gt;の用法がわかりさえすれば、動詞の異なりは必ずしも必須のことではない。この教案例の流れでは、最後に〔JLPTを受けること〕・〔進路のこと〕の話題に結びつけたいこともあり、〔宿題〕の話題から突然、〔JLPT〕の話題へは脈絡が欠けるのでその間に話題の展開が必要となる）</p>				
週末の過ごし方（続く）	週末のその他の行動（続く）	<p><b>皆さん、土（曜日）・日曜日に宿題しかしませんか。</b></p> <p>（鹿が理解できないようだったら、言い換えの質問をすることもあり。思い出させることもできるが、授業の流れ。配分などを考え、決める）</p> <p><b>土曜日と日曜日に何をしますか。</b></p>	⇒	全		このような機会に <b>しか</b> を使い、受容の面でだが復習することができる。
			←	L① L②   Ln	<b>土曜日にアルバイトをします。</b> … …	いろいろ出てくることを期待して良い。その中に「する」以外の動詞が使われる話題が出て来ることを期待する。
		<b>そうですか。</b>	⇒	全		
		<p>（前のインタラクションで学習者の方から話題が広がらなければ、指導者から提供する）</p> <p><b>掃除、洗濯、買い物はどうですか。</b></p>	⇒	全		

週末の過ごし方	週末のその他の行動		←	L① L②   Ln	・土曜日に洗濯をするつもりです。 ・日曜日に洗濯をします。 ・土曜日に買い物に行くつもりです。	ここまでずっと～するつもりです。練習してきているから、買い物に行くつもりです。と言えたら、形式面では<～つもりです>が習得できたと言って良い。
		買い物に行きますか。	⇒	全		
			⇐ ⇐	La Lb	ええ。行くつもりです。 いいえ。行きませんつもりです。	
		行きませんつもりです。(正しいかな? どうか? と行った雰囲気) もう一度 (と促す)	⇒	Lb		
			←	Lb①	行かないつもりです。	学習者に正しい表現方法を思い出させるようにする。 全員に問いかけ修正させることも可。ピアラーニングになる。 聴く姿勢を促すことにもなる。
		Lb②さん、買い物に行きますか。	→	Lb②		
	←		???? (混乱が生じている場合)			
形式	必要に応じて、形式的・構文的な練習	形式に混乱が見られたら、形式練習を行なう。必要に応じて必要な範囲で形式練習を行なうのでいいと考えている。クラスの活動は、学習者がなぜそれをしているかを理解し、納得していることが肝要。特に形式的な練習は学習者にその必要性を十分認識してもらうことが不可欠。ここでとりあげる<～ます→辞書形><～ません→ない形>の活用練習は散々してきているので、またかと思わせないようにしなければならない。				
		Lb(2)を中心に変形練習を行なうが、全員に練習の機会を提供する。誘導して思い出させるようにすると良い。 板書が残っていたら板書を示しながら、動詞の辞書形・～ない形の確認をできる 宿題をします。-----→宿題をするつもりです。 宿題をしません。-----→宿題をしないつもりです。 では 買い物に行きます。-----→買い物に行くつもりです。 買い物に行きません。-----→買い物に行かないつもりです。				
		(必要だと判断された時に) 練習をしましょう。 昼ごはんを食べますか。 (キューとして) いいえ。	⇒	全		
	⇐		いいえ、食べないつもりです。			

形式	形式的・構文的な練習	<p>今晚テレビを見ますか。 (キューとして) いいえ。</p>	⇒		
			⇐		いいえ、見ないつもりです。
		<p>(はい、いいえのキューを混ぜて) 明日友達にメールを出しますか。 電話をかけますか。 本を読みますか。 パンを買いますか。 家まで歩きますか。 晩ご飯を作りますか。 などなど</p>	⇐		<p>(いいえ、) 出さないつもりです。 . . . . . .</p> <p>スピードをあげて練習するのも楽しい。</p>
週末の話(続く)	自由に	<p>じゃ、みなさん 週末は何をしますか。</p>	⇒		
		<p>(できるだけ事実に沿って話させたいが、あまり広がらないようであればキューを出すことも考えておく方がいい。)</p> <p>キューを出す場合 カラオケはどうですか? 買い物はどうですか?</p> <p>などと問いかける。応答としては以下の表現方法がありうる。</p> <p>～ます ～ません ～つもりです ～ないつもりです ～と思う</p>	⇒	全	<p>(想定される応答内容)</p> <p>ウェブで映画をみる 料理を作る 友達と会う 食べる 寝る 起きる ～時ごろ家を出る スーパーで買う カラオケへ行く 電気代を払う 夕飯を作る メールを送る あげる 寝る 起きる</p> <p>掃除をする 選択をする 料理をする</p> <p>一人での応答、グループでの応答。いろいろ組み合わせる。</p>

週末の話	勉強	(勉強の話題に展開し、JLPT受験の話に展開させたい) 勉強はどうですか。 予習は?	⇒	全		
			←	L① L②   Ln	・します。 ・しません。 ・するつもりです。 ・しないつもりです。	<～ます><～ません> <～辞書形つもりです。 <～ないつもりです>の4 つの表現方法が可能であ る話題だが、正しく使って いるかどうかを確認した い。本当に?、いい学生で すか、どうしてですかなど と、尋ねて使い方に誤りが ないかを確認することが 肝要。
JLPT	受験の有無・ 受験の時期	みなさん、12月のJLPTを受けますか。	⇒	全		
			←	L① L②   Ln	・はい。受けます。 ・受けません。	
		来年の7月はどうですか。	⇒	全		
			←	L① L②   Ln	・受けます。 ・受けません。 ・受けるつもりです。 ・受けないつもりです。	
		N2ですか。	⇒	全		
	←	L① L②   Ln	・いいえ、N3を受けるつもりです。 ・N3を受けます。			
進路(続く)	進学・就職	[じゃ、]皆さん、大学の試験を受けますか。	⇒	全		
			←	L① L②   Ln	・受けます。 ・受けません。 ・受けるつもりです。 ・受けないつもりです。	
		大学の試験を受けない人は? どうするんですか。	⇒	Lb		
			←	Lb(1) Lb(2) Lb(3)	・専門学校の試験を受けます。 ・専門学校の試験を受 けるつもりです。 ・会社に入るつもりです。	
		Lb(3)さん、皆さん。 日本の会社の試験を受けなければなりませんか。	⇒	全		
	⇐		はい。(試験を)受けなければなりません。			

進路(続く)	「つもりです」 使用制限	試験を受けた人はみんな会社に入れますか。	⇒			
			⇐	いいえ。入れません。		
		そうですね。	⇒			
		皆さんは、決められませんね。				
			⇐	・はい。		
				・そうですか。		
				・そうですね。		
		そうです。皆さんは決められません。	⇒			
		「入るつもりです」は使うことができません。	⇒			
			⇐	・わかりました。		
	日本の会社に入りたいです。 (こんな場合も、どう言ったらいいと思いますか。などと考えさせても良い)	⇒				
		⇐	わかりました。			
	日本の会社に入りたいですね。	→	Lb③			
		←		はい、入りたいです。		
	ですから、 (誘導して)日本の会社の~~~~	⇒				
		→				
		←		・試験を受けるつもりです。	いずれの表現方法が適切なかは本人の事情でとなる。	
				・試験を受けます。		
		でも、L⑤さんは?	→	L⑤		
			←		父の会社に入るつもりです。	「入る」という動詞の制約ではなく、意味の制約であることが分かった発話内容。このような学習者がいたら、「入る」の使用上の制限がより明確になる。
	そうですね。(使い方が正確であることを伝える。)	→				
	でも、別の会社に行くかもしれませんか。					
		←		別の会社に行きません。		
	そうですか。	⇒			「入るつもりです」「入ります」の違いを認識させる。	
	じゃあ、 「お父さんの会社に入るつもりです」 そうですね。					
		←		・はい。入ります。		
				・はい。そうです。		
	(表現方法が正確であることを伝える) そうですね。	⇒	全 L⑤			

進路			←	L⑤	父の会社に入ります。	いずれの表現方法が適切なかは本人の事情による。	
		いいですね。	⇒	全			
			⇐		いいです。		
	進学	L⑥さんは？	→	L⑥			
			←				わたしは、XX 専門学校に入りたいです。
		ですから、(誘導して) 専門学校の試験~~~~	→				
			←				・試験を受けるつもりです。 ・試験を受けます。
		それじゃ、日本語を~~	→				
			←				・勉強します。 ・勉強しなければなりません。
		そうですね。	→				
	皆さんはどうですか。	⇒	全				
		⇐			・勉強します。 ・勉強しなければなりません。		
授業の終わり	休憩に向けて	もっと授業を続けましょうか。	⇒				
			⇐		・いいえ。 ・先生、休み時間です。 ・休みたいです。		
他の項目の指導							
授業の終わり							
授業の終わり(続く)	授業の終わりに向けて(続く)	じゃ、今日の宿題です。	⇒	全		時間になったから、休みましょうというのではなく、自然な流れで休憩に入れるようにできたらと思っている。	
			⇐				はい。ありがとうございます。
		明日、学校へ来ますか。 (来ないつもりですと言ってしまう学習者もいる可能性があるあるので、再度確認する)	⇒				
			⇐		Lx		・来ます。 ・来ません。 ・来ないつもりです。
		(Lxに対して) えっ!?(とといった反応)	⇒				

授業の終わり	授業の終わりに向けて		↑↓		明日は土曜日ですよ。	学習者からの修正を期待する。
			↑↓		来ません。	
			⇐	Ln	先生は？	
		来ません。	⇒	全		
		宿題を渡します。しますね。	⇒			
			⇐	Ln	・はい。します。 ・するつもりです。	「するつもりです」で皆が笑ったら、本日の授業は大成功。 学習者の反応がない場合には、「するつもりですか。月曜日に宿題を持ってきませんか」などと言い、<～つもりです>の使い分けを思い出させるなどをするが良い。
		じゃ、また来週。	⇒	全		
			⇐	Ln	・また、来週。 ・失礼します。	

この教案例の前提

宿題は全員が行うはず

宿題は出た当日にする学生と学校へ行く前にする学生がいるだろう

月曜日から木曜日までの宿題は、宿題が出た日にする学生が多いだろう

金曜日の宿題は、金曜日中にする学生も週末にする学生もいるだろう

金曜日の宿題への取り組みは 学習者の中に<～します～しません～するつもりです～しないつもりです>のいずれかを必要とする人がいるだろう。

「本当に」「絶対に」という語彙を知っている。